

<佐賀県作業療法士会理事会 会議録>

日時：平成 23 年 1 月 25 日（火） 19：00～21：00

場所：アイスクエアビル 中会議室にて

出席：倉富会長、山口副会長、竹下、江渡、金子、川辺、原、小池、佐藤、村岡、小松、
本山、熊谷

I. 会長報告および審議事項

1. 報告事項

1) 介護実習普及センターへの講師派遣

①福祉用具専門相談員指定講習会への講師派遣

・県士会より米田 OTR、竹下 OTR、庄司 OTR、島ノ江 OTR、内山 OTR。

②介護予防講座への講師派遣

・県士会より村岡 OTR。

2) 介護予防支援員養成講習会への講師派遣

・県士会より米田 OTR、原 OTR、村岡 OTR、古田 OTR、白石 OTR。

3) 九州地区作業療法士会長会議の報告

・川辺事務局長参加により報告

①九州 PT・OT 合同学会

・第 33 回北九州（H23.11.19～20 で開催）。第 34 回は長崎での開催。
第 35 回熊本、第 36 回佐賀にて開催予定。

②九州作業療法士会長会合同研修会進捗状況報告

・H23.2.11～12 福岡にて開催。

③訪問リハビリテーション実務者研修会の県士会での開催状況確認。

・佐賀県士会では H23.1.22～23 で開催済。

4) 介護認定審査会への委員の推薦

①杵藤地区広域市町村圏組

・県士会より山口 OTR、小池 OTR、鶴田 OTR、桑原 OTR、米田 OTR 推薦

②唐津市介護保険課

・県士会より本山 OTR、佐藤 OTR 推薦

③佐賀中部広域連合

・県士会より堀 OTR、森 OTR、藤末 OTR 推薦

5) 唐津市障害認定区分審査会への委員の推薦

・県士会より本山 OTR、前田 OTR 推薦

6) 佐賀県訪問リハビリテーション実務者研修会（OT・PT・ST3 士会共同）開催の報告

・H23.1.22～23 開催。参加者は委員を含め 86 名内作業療法士 30 名。OT 士会から
予算 20 万円の 3 割負担。

2. 審議事項

1) 役員及び組織の再編

①役員への立候補者はおらず、理事会案にて新役員の選出。

- ②組織としては一般社団法人化へ向けた委員会及び30周年準備委員会を設置。また各部署、委員会の見直しを実施。 ⇒ 承認
- 2) 平成23年度活動内容及び日程
- ・理事会にて次年度活動案を審議、作成。 ⇒ 承認
- 3) 平成23年度予算案
- ・理事会にて次年度予算案を審議、作成。 ⇒ 承認
- 4) その他
- ①一般社団法人化への取り組み：準備委員会立ち上げ ⇒ 承認
 - ②県士会創立30周年記念事業（平成24年度）：準備委員会立ち上げ ⇒ 承認
 - ③作業療法草の根運動の展開（案）
 - ・作業療法を必要としている方々への病院や老人保健施設以外での相談事業などの実施。介護実習普及センターや認知症家族の会などでの相談事業を展開し、作業療法の啓発運動へつなげる。
 - ④合同学会査読委員の推薦、確認
委員の継続で確認を行う。 ⇒ 承認

II. 各部署からの報告および審議事項

1) 学術部（江渡学術局長より報告および審議）

- ・第43回学術研修会：
3月13日（日）佐賀市文化会館にて開催。時間調整、懇親会など確認後案内発送。
- ・学術誌について：
編集委員会を立ち上げ。編集委員長に青山 OTR（西九州大学）。
編集委員に池田 OTR（神野病院）、鬼塚 OTR（新武雄病院）、野崎 OTR（好生館）、藤原 OTR（西九州大）。論文のみではなく講座やトピックスなど幅広く掲載していきたい。発送部数は700~800部。県士会会員や各都道府県士会、県内の各施設への送付を考える。創刊号は次年度の夏頃を予定。過去の発表なども含め投稿への呼びかけを学会案内などにも掲載する。
- ・九州作業療法士会長合同研修会への参加：
佐賀県士会から9名の参加予定。
- ・佐賀県子ども研修会について：
協賛研修への依頼、また協賛研修への協賛金の見直しを今後行っていく。 ⇒ 承認

2) 事務局（川辺事務局長より報告）

- ・県士会費の自動払い込みシステムについて
ゆうちょ銀行において自動払い込みが100名の参加があれば可能とのこと。アンケートにて会員のニーズを確認し、要望が多ければシステム化する。払い込みへの登録は会員の任意（平成24年度からの予定で考えている）。

3) 教育部（金子教育部長より報告）

- ・現職者共通研修：
平成23年2月27日（日）にて4テーマ開催の予定。決定次第案内送付する。